

富山大学 学報

第273号

目 次

関係法令	2	学内諸報	17
諸会議	2	叙位・叙勲	17
学 事	3	昭和61年度文部省北陸地区共同行事体育大会	17
学位取得者	3	海外渡航者	20
昭和61年度文部省在外研究員派遣予定者の決定	3	昭和61年度富山大学公開講座の実施について	20
昭和62年度富山大学入学者選抜に関する要項を 発表	4	職員消息	23
人事異動	17	主要行事	23

関係法令

(官報掲載月日)

(官報掲載月日)

政 令

- 児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令 (261) 7・22
(注) 児童扶養手当の受給資格者の所得により支給を制限する場合の限度額を改める等の改正が行われた。
- 母子及び寡婦福祉法施行令の一部を改正する政令 (262) 7・22
(注) 母子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付金額の限度の引上げが行われた。

省 令

- 外国為替の管理に関する省令の一部を改正する省令 (大蔵40) 7・19
(注) 外国為替及び外国貿易管理法の一部を改正する法律及び外国為替管理令の一部を改正する政令の施行に伴い所要の改正がなされた。
- 出納官吏事務規程等の一部を改正する省令 (大蔵47) 7・30
(注) 8月から金融機関が毎月の第三土曜日を休業日とすることに伴い所要の改正がなされた。

訓 令

- 「現代仮名遣い」の実施について 7・1

規 則

- 人事院規則 9-17 (俸給の特別調整額)の一部を改正する規則 (人事院 9-17-8) 7・1
- 人事院規則 16-4 (補償及び福祉施設の実施)の一部を改正する規則 (人事院 16-4-3) 7・1

告 示

- 教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の正規の課程として認定した件 (文部104) 7・15
(注) 富山大学人文科学研究科等が高等学校教諭1級普通免許状授与の所要資格課程の認定を受けた。(昭和61年4月1日適用)
日本・東洋文化専攻 国語, 社会, 中国語
西洋文化専攻 社会, 英語, ドイツ語
- 現代仮名遣い (内閣 1) 7・1

諸 会 議

昭和61年度第2回附属図書館商議会 (7月3日) (審議事項)

- (1) 昭和61年度学生図書購入費について
- (2) 昭和61年度参考図書購入費について
- (3) 昭和61年度基本参考図書購入費について
- (4) 外国雑誌購入費について

5期分)の調査研究事項について (2)その他

学長選考基準検討委員会 (7月11日)

- (議 題)
- (1) 学長選考基準について

昭和61年度第2回入学者選抜方法研究委員会専門委員会 (7月8日)

- (議 題)
- (1) 入学者選抜方法の改善に伴う昭和60年度以降 (第

部局長懇談会 (7月11日)

- (議 題)
- (1) 当面の諸問題について

昭和62年度富山大学入学者選抜に関する要項を発表

本学は、昭和62年度富山大学入学者選抜に関する要項を7月22日(火)に次のとおり発表しました。

これによると、昭和61年度との主な相違点は、

- ① 共通第1次学力試験の受験を要する教科を人文学部、教育学部、経済学部、理学部の4学部では、国語、社会、数学、理科、外国語の5教科、工学部においては、社会を除く4教科としたこと。
- ② 人文学部、経済学部、理学部において、それぞれ

帰国子女等及び社会人等の特別選抜を実施することとしたこと。

- ③ 理学部生物学科において、第2次の学力検査で出題教科から数学を除き、新たに小論文を課すこととしたこと。

なお、第2次の学力検査等の日程、試験場及び出願手続等の細目を記載した学生募集要項については、本年11月上旬ごろ発表する予定です。

1. 学部・学科等の内容及び入学定員

学 部	学部・課程		入学定員	専 攻 , 講 座 又 は 学 科 目
人文学部	人 文 学 部 学 科		95	履修コース 哲学, 日本史学, 東洋史学, 西洋史学, 考古学, 人 地理学, 文化人類学, 言語学, 文化構造論 国語国文学, 朝鮮語朝鮮文学, 中国語中国文学, 英語英米文学, ドイツ語ドイツ文学, ロシア語ロシア文学, 比較文学
	語 学 文 学 科		95	
教育学部	小学校教員養成課程		140	専攻教科 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 図画工作, 体育, 家庭, 教育, 教育心理学 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 技術, 英語 特殊教育 幼稚園教育
	中学校教員養成課程		50	
	養護学校教員養成課程		20	
	幼稚園教員養成課程		30	
経済学部	昼コ 間 主ス	経 済 学 科	144	理論経済学, 比較経済論, 政策科学, 応用経済学
		経 営 学 科	124	経営学, 応用経営, 管理科学
		経 営 法 学 科	102	基礎法, 民事法, 企業関係法
	夜コ 間 主ス	経 済 学 科	20	理論経済学, 比較経済論, 政策科学, 応用経済学
		経 営 学 科	20	経営学, 応用経営, 管理科学
		経 営 法 学 科	20	基礎法, 民事法, 企業関係法
理学部	数 学 科		43	代数学及び幾何学, 解析学, 数理統計学, 応用解析学及び電子計算機論
	物 理 学 科		47	固体物理学, 量子物理学, 結晶物理学, 電波物理学, レーザー物理学
	化 学 科		43	物理化学, 構造化学, 分析化学, 有機化学, 天然物化学
	生 物 学 科		35	形態学, 生理学, 細胞生物学, 環境生物学
	地 球 科 学 科		32	地殻構造学, 地殻進化学, 陸水学, 雪氷学
工学部	電 気 工 学 科		53	電気理論, 電気機器学, 電力工学, 通信工学, 制御工学
	工 業 化 学 科		48	有機工業化学, 有機合成化学, 無機工業化学, 応用物理 化学環境化学
	金 属 工 学 科		43	金属材料学, 金属加工学, 鉄冶金学, 非鉄冶金学
	機 械 工 学 科		53	材料力学, 機械力学, 流体工学, 熱工学, 動力熱工学
	生 産 機 械 工 学 科		43	切削加工, 工業計測, 塑性加工, 制御機器
	化 学 工 学 科		43	反応工学, 拡散単位操作, 機械の単位操作, 輸送現象
	電 子 工 学 科		43	基礎電子工学, 応用電子工学, 電子素子工学, 電回路工学
	共 通 講 座		—	応用物理学, 応用数学, 情報処理
合 計			1,386	

2. 入学者選抜方法等, 第2次の学力検査実施教科・科目及び共通第1次学力試験の受験を要する教科等

別表 I・II・IIIのとおり

なお, 推薦入学者の選抜方法, 帰国子女・社会人等の特別選抜方法については別表IV・V・VI参照のこと。

3. 学生募集要項(細目)の発表

募集人員, 出願手続・期日, 第2次の学力検査等の実施期日, 試験場等の細目を記載した学生募集要項は, 11月上旬頃に発表の予定である。

なお, 郵送にて募集要項を請求する場合は, 本要項の6.募集要項の請求方法を参照すること。

4. 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査の配点

学部(学科・課程)		教科等	区 分	国語	社会	数学	理科	外国語	養 査 検	小論文	小計	合 計
人 文 学 部			共通第1次 第2次	200 200	100	200	100	200 200			800 400	1,200
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程		共通第1次 第2次	200 200	100	200 200	100	200 200	200		800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語 専攻)		共通第1次 第2次	200 400	100	200	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (数学, 理科, 家庭 技術専攻)		共通第1次 第2次	200	100	200 400	100	200 400			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)		共通第1次 第2次	200	100	200	100	200	400		800 400	1,200
経 済 学 部	経済学科, 経営学科 経営法学科 (昼間主コース)		共通第1次 第2次	100	50	100 300	50	100 300			400 300	700
	経済学科, 経営学科 経営法学科 (夜間主コース)		共通第1次 第2次	200	100	200	100	200			800	800
理 学 部	数 学 科		共通第1次 第2次	200	100	200 400	100	200			800 400	1,200
	物 理 学 科		共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 400	200			800 600	1,400
	化 学 科 地 球 学 科		共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 200	200			800 400	1,200
	生 物 学 科		共通第1次 第2次	200	100	200	100 400	200		400	800 800	1,600
工 学 部			共通第1次 第2次	100		100 200	100 200	100			400 400	800

5. 定員一部留保第2次募集の配点

学部・学科	共通第1次学力試験					第2次の 学力検査	合 計
	国 語	社 会	数 学	理 科	外国語		
理学部物理学科	200点	100点	400点	200点	200点		1,100点

別 表 I

昭和62年度富山大学入学者選抜方法等

学部・学科名	選抜方法等	第 2 次 の 学 力 検 査 等						推 薦			
		第2次 の学力を 検査する	実 技 検 査 等			2 段 階 選 抜			入学定員の一部について、出身学 力検査を免除し調査書を主な資料		
			実 技 検 査 を 課 す	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す	主として、調査書の内容と共通 試験第1次学力より第1段階の 成績により第1段階の選抜を 合格に更に行い、その必要 な検査等を行う	第1段階の選抜 による合格者数		第2次学力 検査を免除し、 共通第1次 学力試験を課す	第2次学力 検査を免除し、 共通第1次 学力試験を 課す	実 技 検 査 を 課 す
人 文 学 部		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
教 育 学 部	小学校教員養成課程		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	養護学校教員養成課程		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	幼稚園教員養成課程		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (国語、社会、数学、 理科、家庭、技術、 英語専攻)		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (音楽、美術、 保健体育専攻)		×	○	×	×	×	×	×	×	×
経 済 学 部	経済学科、経営学科 経営法学科 (昼間主コース)		○	×	×	×	×	×	×	○	×
	経済学科、経営学科 経営法学科 (夜間主コース)		×	×	×	×	×	×	×	○	×
理 学 部	数 学 科		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	物 理 学 科		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	化 学 科		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	地 球 学 科		○	×	×	×	×	×	×	×	×
	生 物 学 科		○	×	×	○	×	×	×	×	×
工 学 部		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

- 備 考
1. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
 2. 理学部物理学科の定員一部留保第2次募集では、第2次の学力検査は行わず、共通第1次学力試験、調査書及び健康診断を総合して判定する。

入 学			推薦入学 募集人員 (又は比率)	帰国子女、 社会人の ための特 別の選抜		定員一部留保第2次募集					第2次の 学力検査 等の日程	備 考 (欠員の補充 の方法等)
校長の推薦に基づき、学 として判定する						第2次 の学力を 課する	実技検査等			第2次 募集人 (又は 比率)		
技 検 査 等							実技検査を 課する	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す			
面 接 を 行 う	小論文 を課す る	その他										
			帰国 子女	社会 人								
×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	3月5日(休)	(下記参照)
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月5日(休) 3月6日(金)	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
○	○	×	18名 以 内	○	×	×	×	×	×	×	3月5日(休)	
○	○	×	20名 程 度	×	○	×	×	×	×	×	-	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月5日(休)	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	12名		
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

別 表 II 昭和62年度富山大学入学者選抜学力検査実施教科・科目

学部(学科・課程)名 科目数等		教 育 学 部											
		人文学部		小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程		中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語専攻)		中学校教員養成課程 (数学, 理科, 家庭, 技術専攻)		中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)		経済学部 (昼間主コース)	
出題教科・科目名		出題科目	受験科目数	出題科目数	受験科目	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数
国 語	国 語 I	◎	2	○	2	○	2		2		2		2
	国 語 II	◎		○		○							
数 学	代 数・幾 何			○	3 (国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(国語・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2 又は1 (2教科(数学は2科目・外国語は英語2科目ドイツ語1科目)のうちから1教科を選択)
	基 礎 解 析		○			○							
	代 数・幾 何												
	基 礎 解 析												
	微 分・積 分												
	確 率・統 計												
理 科	物 理				1 (国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(国語・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 又は1 (2教科(数学は2科目・外国語は英語2科目ドイツ語1科目)のうちから1教科を選択)
	化 学												
	生 物												
	地 学												
外国語	英 語 II	○	英語は2その他は1	○	1 (国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2 (2教科(国語・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2 又は1 (2教科(数学は2科目・外国語は英語2科目ドイツ語1科目)のうちから1教科を選択)
	英 語 II B	○		○		○							
	ド イ ツ 語	○											
	朝 鮮 語	○											
	中 国 語	○											
	ロ シ ア 語	○											
芸 術 保 健 体 育	音 楽 実 技			○	1		2 (2教科(国語・外国語)のうちから1教科を選択)		2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)	◎	2 (2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)	◎	2 又は1 (2教科(数学は2科目・外国語は英語2科目ドイツ語1科目)のうちから1教科を選択)
	美 術 実 技		○			◎		◎					
	体 育 実 技		○			◎		◎					
小 論 文													
合 計		8	4又は3	9	3	4	2	4	2	1	1	5	2又は1

備考1. ◎は必ず受験しなければならない科目を, ○は選択科目を示す。

2. 教育学部の実技検査の内容

(1) 小学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程

音 楽 ① 楽器又は歌唱による自由曲演奏

楽器は和楽器を除く, 管・絃・鍵盤楽器いずれも可

歌唱は音楽I程度までの歌曲

② 音楽能力検査

音楽Iの程度までの範囲

美 術 描写力検査(平面)及び表現力検査(立体)を行う。

理 学 部										工 学 部						摘 要						
数 学 科		物 理 学 科		化 学 科		生 物 学 科		地 球 科 学 科		電 気 工 学 科	工 業 化 学 科		金 属 工 学 科	化 学 工 学 科								
出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数							
																同一試験時間内に解答させる。						
◎	2	◎	2	◎	2			◎	2	◎	2	◎	2	◎	2		同一試験時間内に解答させる。					
◎	4															同一試験時間内に解答させる。 「確率・統計」のうち統計は除く。						
◎																						
◎																						
◎																						
		◎	1		1	○	1	○	1	◎	1		1	○	1	同一試験時間内に解答させる。						
				◎		○				○				○				○				
						○				○				○								
						○				○				○								
						◎	1															
6	6	3	3	3	3	5	2	6	3	3	3	3	3	4	3							

- 体 育 基礎運動能力及び運動技能について検査する。
- (2) 中学校教員養成課程の音楽、美術及び保健体育専攻
11月上旬頃発表予定の学生募集要項で発表する。
3. 第2志望の選択
教育学部志願者について
第1志望の受験科目（実技検査を除く）が、他の課程又は専攻の指定する科目と同じである場合のみ第2志望を認める。
ただし、中学校教員養成課程を第1志望とする者は、小学校、養護学校及び幼稚園教員養成課程を第2志望とすることができない。

別 表 III

昭和62年度 共通第1次学力試験の受験を要する教科等

富 山 大 学

学部名	受験を要する教科名等	受験を要する教科名	受験を要する教科数	摘 要	そ の 他
人文学部 教育学部 経済学部 理学部		国, 社, 数, 理, 外	5 教科		共通第1次学力試験の配点については, 本要項4を参照のこと。
工学部		国, 数, 理, 外	4		

別 表 IV

推薦入学者の選抜方法

実施学部・ 学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科	
	昼 間 主 コ ー ス	夜 間 主 コ ー ス
募集人員	18名以内	20名程度
選 抜 期 日	昭和61年12月3日(水)	昭和61年12月7日(日)
選 抜 方 法	入学者の選抜は, 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し, 推薦書, 調査書, 志願理由書, 小論文及び面接の結果を総合して判定する。なお, 小論文作成のための資料には英文が含まれる。	入学者の選抜は, 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し, 推薦書, 調査書, 志願理由書, 小論文及び面接の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	昭和61年11月17日(月)～ 昭和61年11月22日(土)	昭和61年11月17日(月)～ 昭和61年11月22日(土)
出 願 資 格	高等学校の専門教育を主とする学科(いわゆる職業科)を昭和62年3月卒業見込みの者で, 次の各号に該当する者。 (1) 人物, 学力, 健康において優れ, かつ, 勉学意欲が旺盛であり, 高等学校長が責任をもって推薦する者。 (2) 高等学校の最終年次における成績が所属学科の上位10%以内の者。	高等学校を昭和62年3月卒業見込みの就職内定者で, 人物, 学力, 健康において優れ, かつ, 勉学意欲が旺盛であり, 高等学校長が責任をもって推薦する者。
そ の 他	推薦人員は1高等学校につき2名以内。	

別 表 V - 1

帰 国 子 女 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	第 1 次選抜 昭和61年11月25日（火） 第 2 次通抜選 昭和61年12月 8 日（月）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、共通第 1 次学力試験及び第 2 次の学力検査を免除し、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行う。</p> <p>(1) 第 1 次選抜 出願書類を資料として選抜を行う。</p> <p>(2) 第 2 次選抜 第 1 次選抜の合格者に対して、小論文、面接及び健康診断により選抜を行う。 なお、小論文及び面接は、いずれも日本語により行う。</p>
出 願 期 間	昭和61年11月13日（木） ） 昭和61年11月19日（水）
出 願 資 格	<p>日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を昭和60年（1985年）4 月 1 日から昭和62年（1987年）3 月 31 日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。 ただし、外国において最終の学年を含めて 2 年以上継続して学校教育を受けていること。 なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和60年（1985年）及び昭和61年（1986年）に授与された18歳以上の者。</p>
そ の 他	

別 表 V-2

帰 国 子 女 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科 「昼間主コース」
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和61年12月3日（水）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、出願書類、小論文及び面接の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	昭和61年11月17日（月） ） 昭和61年11月22日（土）
出 願 資 格	日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を昭和60年（1985年）4月1日から昭和62年（1987年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。 ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。 なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和60年（1985年）及び昭和61年（1986年）に授与された18歳以上の者。
そ の 他	

別 表 V-3

帰 国 子 女 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	理学部……………化学科・生物学科・地球科学科
募 集 人 員	各学科若干名（定員内）
選 抜 期 日	第1次選抜 昭和61年11月26日（水） 第2次選抜 昭和61年12月8日（月）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、第1次選抜及び第2次選抜により行う。</p> <p>(1) 第1次選抜 出願書類を資料として選抜を行う。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜合格者に対し、小論文、面接及び健康診断により選抜を行う。</p>
出 願 期 間	昭和61年11月17日（月） ） 昭和61年11月22日（土）
出 願 資 格	<p>日本の国籍を有し、外国の教育を受けている者で次のいずれかに該当し、昭和62年3月31日現在満18歳以上の者。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を昭和60年4月1日から昭和62年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。</p> <p>なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和60年及び昭和61年に授与された者。</p>
そ の 他	

別 表 IV-1

社 会 人 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	第1次選抜 昭和61年11月25日（火） 第2次選抜 昭和61年12月8日（月）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜により行う。</p> <p>(1) 第1次選抜 出願書類を資料として選抜を行う。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対して、外国語、小論文、面接及び健康診断により選抜を行う。</p> <p>なお、外国語は「英語・ドイツ語・朝鮮語・中国語・ロシア語」の中から1科目選択すること。</p>
出 願 期 間	昭和61年11月13日（木） ） 昭和61年11月19日（水）
出 願 資 格	<p>昭和62年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 大学入学資格検定試験合格者</p> <p>(4) 旧制諸学校の卒業生または中途退学者で、文部大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者</p> <p>ただし、定職をもち、定時制・通信制の高等学校に在学した期間は、社会人の経験期間に含める。</p>
そ の 他	

別 表 IV-3

社 会 人 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	理 学 部……………生物学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	第 1 次選抜 昭和61年11月26日（水） 第 2 次選抜 昭和61年12月 8 日（月）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は、共通第 1 次学力試験及び第 2 次の学力検査を免除し、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行う。</p> <p>(1) 第 1 次選抜 出願書類を資料として選抜を行う。</p> <p>(2) 第 2 次選抜 第 1 次選抜合格者に対し、小論文、面接及び健康診断により選抜を行う。</p>
出 願 期 間	昭和61年11月17日（月） ） 昭和61年11月22日（土）
出 願 資 格	<p>昭和62年 3 月31日までに年齢満23歳に達し、社会人の経験を 5 年以上（注）有する者で、次のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>（注） 定時制・通信制及び夜間部等の学校の在学期間は、社会人の経験期間に含める。</p>
そ の 他	

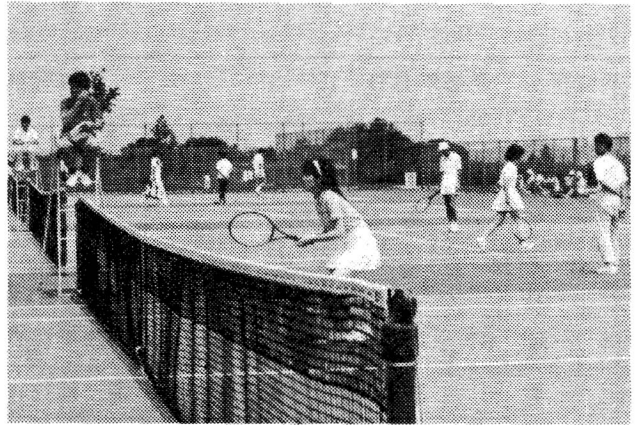
ムは、金大Bチームには2対0で圧勝、しかし能登、福医Bチームには2対0で完敗で3位、Dゾーンの富大Bチーム石川工専には2対0で圧勝、福井工専には2対1で辛勝でしたが、福医Aチームに2対0で完敗で2位とそれぞれ決勝トーナメントに進出はなりませんでした。

硬式庭球においては、Bゾーンの富大Aチームは若狭・福大Bチームには3対0で圧勝、金大Bチームに3対0で完敗で2位、Cゾーンの富大Bチームは、富山工専には3対0で圧勝、しかし金大D・富山医薬Aチームにはそれぞれ3対0で完敗で3位とそれぞれ決勝トーナメントには進出はなりませんでした。ゲーム中は、体よりも口がよく動き、しばしば周囲の爆笑を誘うこともゲーム中にあり、かなり親睦がはかられたものと思われます。

なお、成績等詳細は次の通りです。

(1) 日 時 昭和61年7月25日(金)

- (2) 会 場 バレーボール 小杉町民体育館
硬式庭球 県民公園太閤山ランド
- (3) 参加人数 42名(バレーボール26名, 硬式庭球16名)



バレーボール予選リーグ

Aゾーン

チーム名	富大A	能登	金大B	福医B	順位
富大A	/	0 - 2	2 - 0	0 - 2	3
能登	2 - 0	/	2 - 1	0 - 2	2
金大B	0 - 2	1 - 2	/	0 - 2	4
福医B	2 - 0	2 - 0	2 - 0	/	1

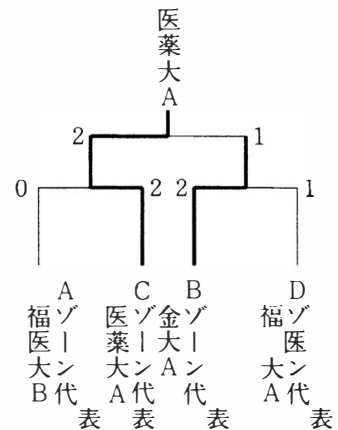
Bゾーン

チーム名	富工専	金大A	福大A	医薬B	順位
富工専	/	0 - 2	0 - 2	0 - 2	4
金大A	2 - 0	/	2 - 0	2 - 0	1
福大A	2 - 0	0 - 2	/	0 - 2	3
医薬B	2 - 0	0 - 2	2 - 0	/	2

Cゾーン

チーム名	福大B	高岡短	高岡短	医薬A	順位
福大B	/	2 - 1	2 - 0	0 - 2	2
富商船	1 - 2	/	2 - 1	0 - 2	3
高岡短	0 - 2	1 - 2	/	0 - 2	4
医薬A	2 - 0	2 - 0	2 - 0	/	1

決勝トーナメント



- 優 勝 医薬大A
- 2 位 金大A
- 3 位 福医大A
福医大B

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修旅行	工学部	助教授	塩澤 和章	韓国	第2回亜細亜太平洋材料強度評価研究会出席及び講演並びに材料強度に関する資料収集及び調査	61. 7. 2 } 8 61. 7. 8
	〃	助手	石原 外美	〃	〃	〃
	教育学部	助教授	中村 義朗	オーストリア	合唱音楽に関する研究及び資料収集と合唱活動の交流	61. 7. 5 } 17 61. 7. 17
		助教授	辰己 昭典	ハンガリー フランス		
	教養部	〃	湯川 純幸	アメリカ合衆国	コミュニケーション理論への構成主義的アプローチの最近の動向を研究	61. 7. 6 } 1 61. 9. 1
	人文学部	外国人 教師	メヒティルト・クーゲルマイヤー	ドイツ連邦共和国	学会及びゼミナールに講師として参加	61. 7. 13 } 19 61. 8. 19
	〃	助教授	神前 進一	バングラディッシュ マレーシア 韓国	地域開発に伴う農村社会の変化の国際比較の資料収集と研究交流	61. 7. 20 } 4 61. 8. 4
教養部	〃	溝口 常俊	バングラディッシュ タイ 韓国	バングラディッシュ農村における市とそれをめぐる商人集団の研究	61. 7. 20 } 4 61. 8. 4	

昭和61年度富山大学公開講座の実施について

——現代史と現代——

時の流れは過去、現代、未来と続く1次元1方向性のものであるという捉え方がある。私達が未来につなげる現代をより有意義に生きて行く為には、近い過去である各分野の現代史に学ぶところが多い。この観点から各分野の現代史を考察する。

(会場)

富山大学工学部 106大講義室

(受講料)

3,000円(講習料の分納はできません。なお、既納の講習料は還付しません。)

(講座の名称)

現代史と現代

(申込期間)

昭和61年8月11日～9月18日

(開設期間)

昭和61年9月19日(金)～10月11日(土)

(申込み・問合せ先)

〒930 富山市五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで

(開設日数及び時間帯)

10日間、午後6時～午後8時(ただし、10月11日(土)は午後2時～午後4時)

☎(0764)41-1271

(募集人員)

一般成人 70名(先着順)

(内線205, 206)

(講 座 内 容)

回数	期 日	講 義 題 目	講師氏名	所 属 ・ 職 名
1	9月19日(金)	無限を数える	風 卷 紀 彦	理 学 部 教 授
2	22日(月)	中国文化大革命前後の文学	釜 谷 武 志	教 養 部 助 教 授
3	24日(水)	高齢化社会における諸問題—生活—	高 尾 テルノ	保健管理センター助教授
4	26日(金)	現代労働 市場諸問題 —高齢化の進展 女労働者の増大—	竹 川 慎 吾	経 済 学 部 助 教 授
5	29日(月)	エントロピーの世界観	安 田 祐 介	理 学 部 助 教 授
6	10月1日(水)	石炭液化技術の動向	塚 島 寛	工 学 部 教 授
7	3日(金)	現代の教育—教育改革の方向—	宗 孝 文	教 育 学 部 教 授
8	6日(月)	富山県方言の分布と歴史 —東西両方言の接触地帯における—	川 本 榮一郎	人 文 学 部 教 授
9	8日(水)	現代社会と裁判	角 森 正 雄	経 済 学 部 講 師
10	11日(土)	マルコーニから放送衛星まで	三日市 政 司	工 学 部 助 教 授

——健康・スポーツ教室——

市民のスポーツに対する関心を高め普及するため、ジョギング、バドミントンを選んで、それぞれ専門的な理論、実技の指導を行う。

(講座の名称) 健康・スポーツ教室

(開設コース・募集人員・受講対象等)

開設コース名	募集人員	受 講 対 象 者	備 考
ジョギングコース	20名	一般男女	
バドミントンコース	20名	一般男女	ラケットは貸出可

(開設期間)

・ジョギングコース 昭和61年9月18日(木)～10月9日(木)の下記日程の10日間

・バドミントンコース 昭和61年9月24日(水)～10月2日(木)の下記日程の7日間

(日程・開講時間)

コース	月日	9/18(木)	22(月)	24(水)	26(金)	29(月)	10/1(水)	3(金)	6(月)	8(水)	9(木)
ジョギングコース		18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間	18:00～ 20:00 2時間

コース	月日	9/24(水)	25(木)	26(金)	29(月)	30(火)	10/1(水)	2(木)
バドミントンコース		9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～12:00 3時間	9:00～11:00 2時間

(会 場) ・ジョギングコース 富山大学第1体育館他

・バドミントンコース 富山大学第2体育館

(受 講 料) 3,000円(講習料の分納はできません。なお、既納の講習料は還付しません。)

(申 込 期 間) 昭和61年8月11日～9月17日

(ただし、バドミントンコースは、9月22日まで受け付ける。)

(申込み・問合せ先) 〒930 富山市五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで ☎(0764)41-1271 (内線205, 206)

(講 座 内 容)

ジョギングコース 教育学部教授 山 地 啓 司

ウォーミングアップの方法、トレーニング方法とスケジュールの作り方、走り方、コースの選定法、シューズの選び方、レースへの参加と準備の進め方等について

バドミントンコース 教養部助教授 福 田 明 夫 教育学部助教授 西 川 友 之

バドミントンを始めるための知識、フライトと基本ストローク・ショット、構えとフットワーク、ゲームの進め方と審判、勝つための理論と戦法、トレーニングとプログラム

富山大学教育学部公開講座

マイクロコンピュータの教育利用

—教育的ソフトウェアを考える—

情報化社会の進歩が著しい今日、学校教育においてもマイクロコンピュータの普及が急速な勢いで進んでおります。このような状況のもとで、その望ましい活用方法がいろいろと模索されてきています。そこで、富山大学教育学部では、小・中学校の先生方を対象に「マイクロコンピュータの教育利用—教育的ソフトウェアを考える—」という公開講座を開きます。本講座は、子供たちの学習活動を支援する教育的ソフトウェアとは何かを考え、教育用コンピュータ言語として注目を集めているLOGO言語を中心として、各種言語の特性を生かした教材開発の基礎技法を修得するとともに、その望ましい活用方法、新しいコンピュータ利用教育の可能性などについて考えていこうというものです。プログラミングに関する知識はまったく必要ありません。マイクロコンピュータの教育利用に関心のある諸先生方の多数の参加を期待いたします。

記

講座の名称	マイクロコンピュータの教育利用 —教育的ソフトウェアを考える—
開設期間	昭和61年7月29日(火)～7月31日(木)
募集人員	小・中学校の現職教諭 40名(先着順)
会場	富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター(富山駅よりバス又は電車で15分、駐車場有)
講師	富山大学教育学部 助教授 山 西 潤 一
日程	

月 日	時 間	内 容
7 月 29 日 (火)	午前9時～午後4時	・教育的ソフトウェアについて ・言語の特性を生かした教材開発法 ・コンピュータ利用による授業展開(I)
7 月 30 日 (水)	午前9時～午後4時	・LOGOを用いた教材開発 ・コンピュータ利用による授業展開(II)
7 月 31 日 (木)	午前9時～正午	・コンピュータ利用教育の可能性

受講料	2,500円(受講料の分納はできません。なお、既納の受講料は還付しません。)
申込み期間	昭和61年7月1日(火)～7月12日(土) 希望者多数の場合は受講届けをコピーして御使用下さい。
申込み先 問い合わせ先	富山大学教育学部 庶務係(〒930 富山市五福3190) 教育実践研究指導センター 山 西 潤 一 TEL 0764-41-1271 内線542 or 540 なお、上記不在の場合は、教育学部庶務係 内線362 or 363 へ照会ください。

職員消息

《新任者住所》

施設課

文部技官 槻 光雄
(工営係)

教授 増田 信彦

《住所変更》

経済学部

助教授 泉田 榮一

教育学部

文部事務官 松田 晃

経営短期大学部

事務補佐員 田 島 麗子

《電話番号変更》

経済学部

主要行事

本 部

- | | | | |
|-------|---|--------|--|
| 7月2日 | 廃液処理施設運営委員会 (13:00~) | 14日 | 第1回体育施設協議会 |
| 4日 | 第36回北陸三県大学学生交歓芸術祭運営委員会 (於: 福井大学) | 15日 | 第5回入学試験管理委員会 |
| 8日 | 昭和61年度文部省共済組合実地監査
入学者選抜方法研究委員会専門委員会 | 16~17日 | 昭和62年度概算要求説明 |
| 9日 | 昭和61年度入学者選抜・教務関係事項連絡協議会 (於: 大阪, 茨木市民会館) | 17日 | 第1回保健管理センター運営委員会
第2回学務関係係長会議 |
| 9~11日 | 昭和61年度厚生補導研究協議会
(於: 国立教育会館, 筑波分館) | 18日 | 第5回評議会 |
| 10日 | 金沢大学辰之口共同研修センター運営協議会 (於: 金沢大学) | 19日 | 親和会レクリエーション |
| 11日 | 第7回学長選考基準検討委員会
第1回部局長懇談会 | 21日 | 部課長会議
第3回事務協議会
第1回事務電算化委員会 |
| 13日 | 第38回北陸地区国立大学体育大会
(於: 金沢大学) | 22日 | 第2回国際交流委員会 |
| | | 23日 | 第13回保健婦, 看護婦班研究集会
(於: 芦原研修会館) |
| | | 24~25日 | 第24回全国大学保健管理研究集会東海北陸
地方研究集会 (於: 芦原研修会館) |
| | | 25日 | 昭和61年度文部省北陸地区共同行事体育大会 (当番校 富山医科薬科大学) |

人文学部

- 7月2日 2年次学生コース別オリエンテーション
 3日 事務連絡会
 4日 2年次学生コース別オリエンテーション
 9日 教育実習校巡回終了
 10日 予算委員会
 12日 授業終了(第13週)
 15日 事務連絡会
 16日 教授会
 人事教授会
 17日 施設委員会
 18日 教育実習委員会
 19日 集中講義指定期間終了
 教育研究特別経費に関する打合わせ会
 31日 事務連絡会

教育学部

- 7月2日 大学院設置準備委員会
 予算委員会
 9日 紀要編集委員会
 10日 図書委員会
 12日 授業終了
 14~16日 補講
 16日 教務委員会
 教授会
 人事教授会
 17日 予算委員会
 17~23日 期末試験
 23日 火災報知機説明会及び消火機使用演習
 24日 大学院設置準備委員会
 学部将来計画委員会
 夏季休業(8月31日まで)
 29~31日 富山大学教育学部公開講座
 (於:教育実践研究指導センター)

経済学部

- 7月2日 日本海経済研究所運営委員会
 日本海経済研究所運営委員会・助手室業務

運営委員会・学部施設整備委員会合同会議

経済学部長候補者選挙管理委員会

- 4日 助手室業務運営委員会
 8日 コンピューター管理運営委員会
 9日 学部図書委員会
 10日 学部施設整備に関する懇談会
 14日 財務委員会
 15日 授業終了(14週)
 16日 学部教務委員会
 人事教授会
 日本海経済研究所所員会議
 教授会
 経済学部長候補者選挙管理委員会
 18日 学部教務委員会(持ち回り)

理学部

- 7月3日 事務連絡会
 7日 立山研究室運営委員会
 9日 教授会
 人事教授会
 12日 授業終了(第13週)
 15日 事務連絡会
 17日 学科主任会議
 31日 事務連絡会

工学部

- 7月9日 工学研究科委員会
 専任教授会
 係長連絡会
 12日 授業終了
 16日 教員資格基準検討委員会
 21日 学科主任会議
 選考委員会
 22日 北陸信越工学部長懇談会(於:福井大学)
 北陸信越工業教育協会理事長・評議員会
 並びに通常総会(於:福井大学)
 23~24日 日本工業教育協会第34回年次大会
 (於:福井市)
 25日 入学試験検討委員会
 29日 学部教務委員会

学部紀要委員会
30日 教授会
専任教授会

7月3日 第2回附属図書館商議会
15日 明治大学と電算化研修
(於：富山大学附属図書館)
22日 名城大学と電算化研修
(於：富山大学附属図書館)

教 養 部

7月2日 予算委員会
教務委員会
9日 図書委員会
人事教授会
将来計画委員会
10日 授業終了
14日 視聴覚教育委員会
15日 予算委員会
16日 教務委員会
人事教授会
教授会
17日 機種選定委員会
18日 機種選定委員会
22日 特昇その他給与に関する委員会
23日 人事委員会
教授会

トリチウム科学センター

7月29日 R. I 特別健康診断 (於：富山市民病院)

保健管理センター

7月9日 健康のつどい (於：保健管理センター
レク・セラピー室)
12日 第1回保健管理センター運営委員会
23日 第13回保健婦・看護婦班研究集会東海・北
陸地方研究集会 (於：福井・芦原研修会館)

経営短期大学部

7月17日 授業終了

附属図書館

◎ 退庁、退室の際には、戸締りの徹底・電気、ガスの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末に十分注意し、盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気、ガス、水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

訂 正 (おわび)

学報 昭和61年 7 月 1 日発行第272号

ページ	訂正箇所	誤	正
5	学内諸報 富山相銀奨学 育英財団	助成金 75万円 53.3万円	助成金 50万円 <u>50万円</u>
6	学内レクリエ ーション	学生部	学生部・ <u>施設課</u>
8	主要行事 教育学部 6 日 7 日	日本教育大学協 会評議員会 学術講演会 (於： 東京湯島会館)	日本教育大学協 会評議員会 (於： <u>東京湯島会館</u>) <u>学術講演会</u>

(注) 原稿提出時に誤りのない、正しい原稿を提出
くださるよう協力ください。

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を
来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、
歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福 3 1 9 0
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町 1 丁目5-18
電 話 (24) 1 7 5 5(代)